

【中小企業振興円卓会議】
平成29年度専門部会 活動成果報告書

活動名	就職幸福都市まつやま発信事業
部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会
部会長・副部会長名	松山法人会 瀧上 悟／松山商工会議所 中矢 斉
代表団体名	公益社団法人 松山法人会
構成メンバー	えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会、松山商工会議所、松山法人会、愛媛県法人会連合会（女性が働きやす企業風土づくり事業）
事業期間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,650,421円 (1,474,498円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める多数の優良企業情報を学生に提供するため、働き方勉強会3回実施した。 ・「働きやすい職場づくり」を進める多数の優良企業の存在と、松山市が働く、生活する上で「就職幸福市」であることを学生が認知しやすい勉強会になるよう工夫した。 第1回 参加人数 77名（学生 36名、参加企業数 8社（17名）、大学関係者等 24名） 第2回 参加人数 26名（学生 8名、参加企業数 5社（7名）、大学関係者等 11名） 第3回 参加人数 42名（学生 17名、参加企業数 5社（8名）、大学関係者等 17名） スケジュール：松山の働きやすさについて（講座）⇒国県市の認証マークや取組の紹介（講座） ⇒参加企業のPR（一社毎プレゼン）⇒グループになり意見交換会 *参加企業のプロフィール一覧の配布、事前に学生の質問を収集、各種リーフレット等の配布 ・ある一定の基準を満たした「働きやすい職場づくり」を進める優良企業（ワークライフバランス優良企業）を学生に提供するため、事前に担当社労士と講師に同行してもらい参加企業を訪問し、学生への「伝え方」と「その手段」を検討した。 ・今後の就職説明会や求人票に「働きやすさ」という自社の強みを活用いただくため、ヒアリング後、担当社労士が制度整備、従業員への公表周知、利用実績、社員教育、福利厚生等を他社と相対的に評価、総評を加えたヒアリングシートを作成し、ヒアリング企業に報告した。
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <p>社内の制度整備が進み、その利用実績もある企業であっても、会社説明会や求人票で、自社の働きやすさを「強み」として十分に表現できていない企業は多く、今後、求人プロモーションの支援やそれを切り口にした説明会などの場の提供が必要であることを強く感じた。</p> <p>親の意向が就活生の就職先の決定に大きく影響している現状もあることから、親向けの説明会も必要であることを感じた。</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <p>学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める多数の優良企業情報を学生、親向けに情報提供し、市内の優良企業の存在と、松山市で働く、生活する上で「就職幸福市」であることを認知してもらうことにより、学生のライフプランの早期創造と学生の市外流出を食い止めたい。</p>

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類（任意様式）
- 収支決算見込書

【中小企業振興円卓会議】平成30年度専門部会 事業計画書

活動名	まつやま みつけふえ 「松山の暮らしやすさ」+「松山の働きやすい企業」を見つけ+カフェ	
部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会	
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟／副部会長 熊谷 環	
代表団体名	公益社団法人 松山法人会	
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、愛媛県専修学校各種学校連合会、えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」および「調査・検証活動」	
活動詳細	現状・課題 <p>労働力不足はますます深刻な状況となり、中小零細企業は経営リスクとして労働力不足を認識している。また、雇用形態は多様化、流動化し、就職観は変化し続け、人材を確保したい企業は、更なる働き方改革、ダイバーシティマネジメントを求められるようになってきている。</p> <p>県内学生の意識調査をみると、進路決定において「企業規模」に関しては重きを置いていない（中小零細企業への就職に抵抗感は少ない）にも関わらず、景況観などの好転により就職率が上昇したことで比較的強気な就職活動を開始した学生が多く大企業志向が高推移していることや市内優良中小零細企業を認知する機会が限られていることから、市外流出が拡大していると予想される。</p> <p>また、「オヤカク」（親に内定承諾の確認をすること）という言葉もあるように、親の意向が就活生の就職先の決定に大きく影響している現状もある。</p> <p>楽天・HR研究所のアンケートによると、就職のことをよく相談する相手として母親約4割、父親約3割と、友人約7割に続き多くなっており、就職に関して、3割の学生が「親からの圧力を感じる」と回答していることから、親向けのパンフレット、サンプル、お礼状の送付や入社式へのご案内など、親向けの対応を実施している企業も急増している。</p>	
	活動内容 <p>学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める多数の優良企業情報を学生に情報提供し（みつけふえ3回：うち1回は親向け）、学生に市内企業の存在と、松山市で働く、生活する上で「就職幸福市」であることを認知してもらうことにより、学生のライフプランの早期創造と学生の市外流出を食い止めることを目的とする。</p> <p>【みつけふえ の特徴】</p> <p>学生の職業観を掴みながら、ある一定の基準を満たした「働きやすい職場づくり」を進める優良企業（ワークライフバランス優良企業）のみが参加できる働き方勉強会である。親向けイベントは、従来からある就職活動how to講座、企業説明会ではなく、幸せなライフを送れる、働き方を学べる場として、学生と同様のテーマ、切り口で、情報交換できるプログラムで開催する。</p> <p>【ワークライフバランス優良企業の選定方法】</p> <p>えひめ子育て応援企業、えひめ子育て応援ゴールド企業、くるみん、プラチナくるみん認定企業、えるぼし認定企業、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定企業、愛媛県の女性活躍推進に係る自主目標設定状況シート提出企業、愛媛県「ひめボス宣言」事業所、松山市「イクボス宣言」企業、（公財）松山市男女共同参画推進財団「まどんな応援企業宣言」提出企業等の両立支援に取り組む企業の中から一定の基準を満たした企業を社労士が個別ヒアリングを行い選定。</p> <p>【参加者の範囲】</p> <p>松山市の働きやすさを周知し、学生のライフプランの早期創造と学生の市外流出を食い止めることを目的とすること、また、ワークライフバランス優良企業＝男女働きやすい企業であることから、性別、学年を定めず参加できるものとする。</p> <p>【その他】</p> <p>①学生の参加しやすい環境（日程設定、会場などの工夫）づくり。</p> <p>②活発に情報交換できる環境づくり。</p> <p>・企業5社程度・学生30名程度／1回</p> <p>・企業からは、経営者だけではなく育児休業取得経験者等のロールモデルにも参加していただく。</p>	
	事業期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日
	事業費	1,492,033円
活動効果 (想定される調査・検証結果等)	<p>○市内優良中小零細企業を認知させる機会をつくる。（人材の確保・定着）</p> <p>○学生が企業選択時に注目している「働きやすさ」をPRすることで、企業にとっては求人票や企業説明会だけでは伝えないことのできない情報をPRする手法、学生・親に選ばれる企業になるための情報収集の場、採用プロモーションの課題発掘の場となる。（人材の確保・定着）</p> <p>○学生にとっては、先輩社員から働き方を学ぶ機会となり、市内優良中小零細企業の認知と同時に松山での働き方、暮らし方をイメージできる機会となる。同時に強力な応援団となりえる親に対して情報提供の場となる。（人材の育成・定着）</p>	